

## よこはま動物園ズーラシア

## ホッキョクグマの赤ちゃんが誕生しました！

よこはま動物園では、令和6年11月18日(月)に、ホッキョクグマの赤ちゃん1頭が誕生しました。

母親のイッチャンは、出産後赤ちゃんを舐めたり、手でやさしく抱き寄せ授乳を促すなど、非常に落ち着いて育児をしており、赤ちゃんも日に日に鳴き声に力強さが増してきています。

野生では雪に掘った巣穴にこもり、出産・育児が行われるため、飼育下でも同様の静かな産室環境を整え、モニター越しに観察を行っています。赤ちゃんが産室から出てくるのは自ら歩き回れるほどに成長してからとなります。

赤ちゃんの公開は育児や成長の様子を見ながら準備してまいります。詳細が決まりましたら、公式ホームページ等でお知らせします。

公開までの間は、ホームページ内のブログ「飼育日誌」で近況情報を発信していく予定です。今後の赤ちゃんの成長の様子を温かく見守ってください。



生後0日目の赤ちゃん(11月18日撮影)



生後7日目の赤ちゃん(11月25日撮影)

## 素材の提供について

監視カメラの映像の提供は可能です。ご希望の方はお問合せ先までご連絡ください。



横浜市SDGs認証制度



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

GREEN×EXPO 2027を  
応援しています

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

## 【参考資料】

### ■ 個体情報

父 親	愛称：ゴーゴ	平成 16 年 12 月 3 日生まれ
母 親	愛称：イッチャン	平成 25 年 12 月 11 日生まれ
子（不明）	愛称：未定	令和 6 年 11 月 18 日生まれ

### ■ これまでのイッチャンの出産について

イッチャンにとって3回目の出産となります。1回目は天王寺動物園（大阪市）で出産、2回目は昨年よこはま動物園で2頭出産したものの、残念ながら3日齢と11日齢で死亡しました。

### ■ ホッキョクグマについて

和 名	ホッキョクグマ
英 名	Polar Bear
学 名	<i>Ursus maritimus</i>
分 類	食肉目 クマ科
分 布	北極圏
生 態	陸上最大の肉食動物でアザラシやセイウチ、死んだクジラ類などを捕らえて食べています。これが得られない時期には、鳥の卵や植物などを食べることもあります。冬になると北極からの氷の広がりに合わせて南へ移動し、それが後退する夏には北へと移動しますが、地域によっては沿岸部や島などで夏を過ごすものがあります。通常、冬眠はしませんが、出産を控えたメスは巣穴の中で冬ごもりをし、出産と育児を行います。近年、地球温暖化による影響で数が激減しており、絶滅が危惧されています。
ワシントン条約 (CITES)	附属書Ⅱ：現在は必ずしも絶滅のおそれはないが、取引を規制しなければ絶滅のおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)：絶滅の危険が増大している種
当園飼育頭数	3 頭（オス 1 頭、メス 1 頭、不明 1 頭） ※今回誕生した個体を含む
国内飼育頭数	18 園館 36 頭（オス 12 頭、メス 23 頭、不明 1） ※令和 5 年 12 月末日現在

### ■ よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆ 入 園 料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料  
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）  
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円
- ◆ 開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）
- ◆ 休 園 日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）12/29～1/1
- ◆ 交 通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 18 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
- ◆ U R L：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆ 住 所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆ 問合せ先：045-959-1000